

表2 成長回帰分析

	Barro-Lee, 1993	Easterly-Levine, 1997	Sachs-Warner, 1997	Collier-Gunning, 1997
サンプル	116 カ国	70-90 カ国 (年による)	79 カ国 (アフリカは 23 を除外)	84 カ国
被説明変数	平均 1 人あたり GDP 成長率	10 年ごとの 1 人あたり GDP 成長率	平均 1 人あたり GDP 成長率	10 年ごとの 1 人あたり GDP 成長率
期間	1965-85	1960-89	1965-90	1960-89
政策要因				
投資率	投資/GDP			投資/GDP アフリカダミー × 投資/GDP
財政	政府支出/GDP	財政黒字/GDP	財政黒字/GDP	
規制	BMP (log 1+BMP)			
貿易	× 関税率	BMP	貿易政策の開放度¹ 開放度 × GDP (log)	BMP × アフリカダミー × BMP
制度			制度指標²	
金融		金融深度	× インフレ率 × 貯蓄	
インフラ		電話回線 / 労働者数 (log)		
初期条件				
所得水準	GDP / 人	GDP / 人 (log, square)	GDP / 人 (log)	GDP / 人 (square)
人的資本	男性中等教育 × 女性中等教育 平均余命 (log)	平均教育年数		× 中等教育入学率 (log) 平均余命 (log, square)
人口	出生率 人口成長率 15 歳以下人口シェア		労働人口成長率 - 人口成長率	
貿易	× 交易条件		一次産品輸出/GDP	
民族多様性		ELF	× ELF	ELF
政治的安定	革命の経験 × 戦争ダミー × 戦争期間	暗殺		× 戦争期間
自然条件			内陸国ダミー 熱帯ダミー	内陸国ダミー
その他	アフリカダミー	アフリカダミー	× 隣国の成長率 × アフリカダミー	× アフリカダミー
R2	0.57	0.45-0.6	0.89	?

注： は係数が 5% レベルで有意、× は有意でない、 はモデルによって有意性が変化することを意味する。

太字は各研究でアフリカ諸国の低成長の主な要因とされているものを示す。

1：関税、BMP、規制などを評価した独自指標（表2のサックス・ワーナー開放度指標に同じ）

2：司法、官僚制、汚職、強制徴用、政府の契約不履行による独自指標（表2の制度に同じ）

